

元ワーキングママがゆく⑦1 RSワクチンの定期接種化を実現

横浜市会議員 伏見ゆきえ

現在「RSウイルス」が高いのが問題です。

私はこうした現状と課

年4月から始めることを

決めました。妊婦に接種を
し、生まれた子どもを重
症化から守る「母子免疫
ワクチン」として、初め
ての定期接種化です。こ
の実現は高額な費用負担
を解消し、横浜の子育て
世代にとって大きな安心
となるでしょう。

の感染症予防ワクチン
は、妊婦および高齢者接
種用で任意接種（全額自
己負担）として実施され
ています。費用も高額で、
接種に踏み切れない家
庭も多いのが現状です。
しかし、RSウイルスは
特に乳児期に感染する
と重症化しやすく、入
院や呼吸器疾患のリス
ク

決めた。妊婦に接種を
し、生まれた子どもを重
症化から守る「母子免疫
ワクチン」として、初め
ての定期接種化です。こ
の実現は高額な費用負担
を解消し、横浜の子育て
世代にとって大きな安心
となるでしょう。

計画は従来の都市像
「明日をひらく都市」を
継承し、「横浜に関わる
すべての人が未来に希望
を抱くことができるあり
たい姿」の実現を目指す
ものです。この中期計画
（素案）に対する市民意
見（パブリックコメント）
の募集が1月5日（月）
から2月27日（金）まで行
われます。

その結果、国は昨年11
月にRSウイルスワクチ
ンの定期接種を2026
年4月から始めることを
決めました。妊婦に接種
をし、生まれた子どもを重
症化から守る「母子免疫
ワクチン」として、初め
ての定期接種化です。こ
の実現は高額な費用負担
を解消し、横浜の子育て
世代にとって大きな安心
となるでしょう。

接種開始に向けて子育て
中のご家庭やこれから
親になる多くの人に、接
種期間や協力医療機関な
どの重要な情報を届ける
ことが必要です。市の広
報誌をはじめウェブサイ
ト、産科・小児科連携な
ら、8月の議案提出に向
けて素案を策定してい
きたいと思っています。



伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立橘女子高卒業後、南科医院、ヤクルトレディーなどを経て2015年に横浜市議員初当選。現在3期目。
連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町
390-8アトリエール102 ☎045・443・5757/
☎045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中！

引き続き取り組みます。

「横浜の未来図」へ
パブリックコメントを募集

横浜市は、2026年
度から29年度を計画期間
とする新たな「横浜市中
期計画（素案）」の策定
を進めています。